

(ハイクリアランストラクター) アーム草刈り機

■ 概要

トラクターに取り付けるアーム式の草刈り機。可動式アームの先端に刈り払い機が取り付けられており、トラクター内部で操作して草刈りができる。



緑のアームの先が刈り払い機。レバーで上下左右に操作できる。

■ 期待できる効果

- ・ 季候によらず使用出来るため、気温の高い夏場でも作業が可能になる。
- ・ 斜面の傾斜に自動で合わせて二面刈りができるため、細かい操作が不要。
- ・ 場所によっては作業時間の短縮にも繋げられる。
- ・ トラクターによっては田の四辺に使用でき、手作業で刈り取る箇所は少なくなる。

■ 課題・留意点

- ・ 作業箇所の地形やトラクターの種類によっては作業できる箇所が限られるため、導入時に確認が必要。

使用者の声

大田原市 五月女 文哉 さん

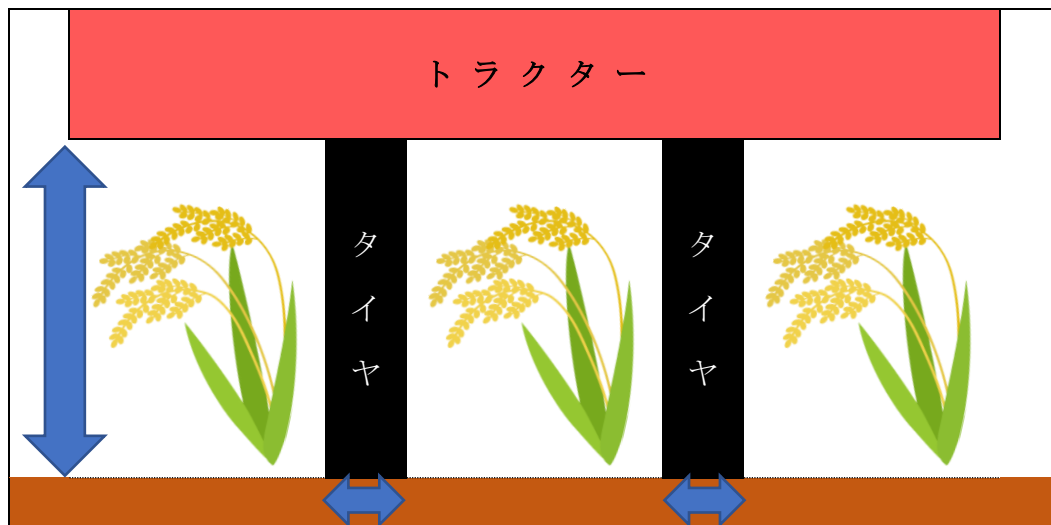
主食用米 15ha、酒米 5ha、飼料用米 (WCS) 10ha

〔導入機器〕 ツインモア TM-27 (三陽機器株式会社)

「何よりも夏の暑い時期に汗一つかかずに作業できるのがいい」と話す五月女さんは、知り合いが実際に導入した機器を見て、季候によらず快適に草刈りできることに魅力を感じて導入を決めた。

同機器をタイヤの細いトラクターに取り付けて使用しており、圃場に入って稲と稲の間を通過して畦の草刈りができる（下図）ため、田の四辺全ての足場の草刈りが快適にできているという。

【図 田の四辺を刈り払いできるよう、トラクターはタイヤが細く、車高が高い】



また、1日に10ha程度の刈り払いが一人きりで可能になったため、作業時間の短縮にも繋がったとのことだ。

「手作業で刈り払わなければならない箇所はほとんどない」と五月女さんは笑顔で話す。

整備に関しても消耗は少なく、刈り払い機の刃を交換する程度で済んでいるとのことであり、付属機器も保障付きで安心だ。